

# 学生生活の現状に関するアンケート 回答状況報告

公益社団法人東京都専修学校各種学校協会

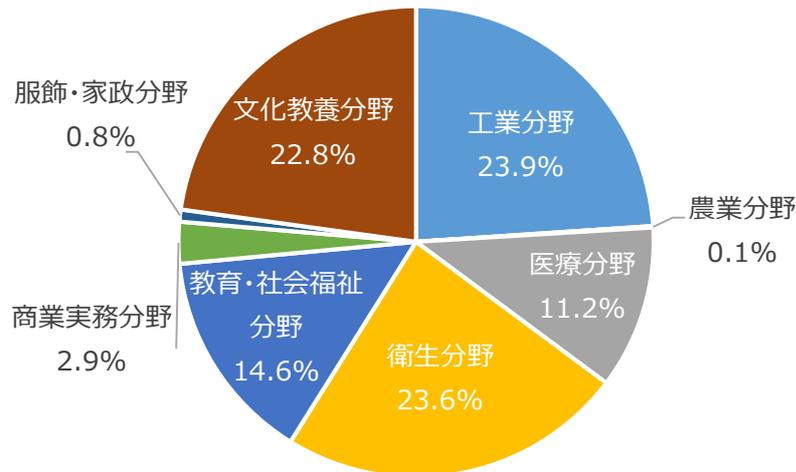
調査期間：2020年5月26日～6月10日（水）

対象：公益社団法人東京都専修学校各種学校協会会員校学生

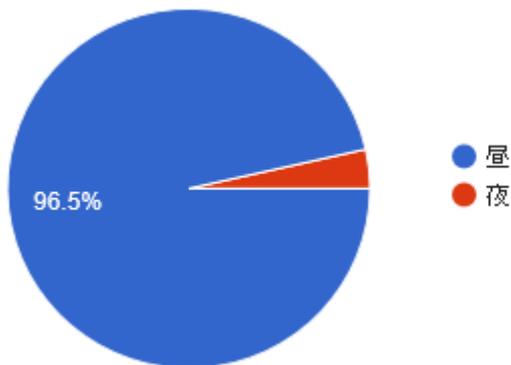
回答：7,012件

## 《回答者情報》

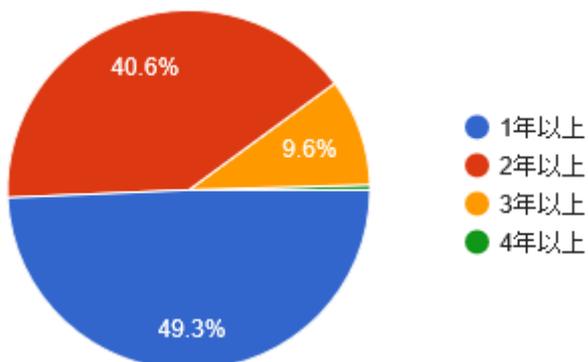
### ■所属している学科の分野



### ■昼夜別



### ■学年



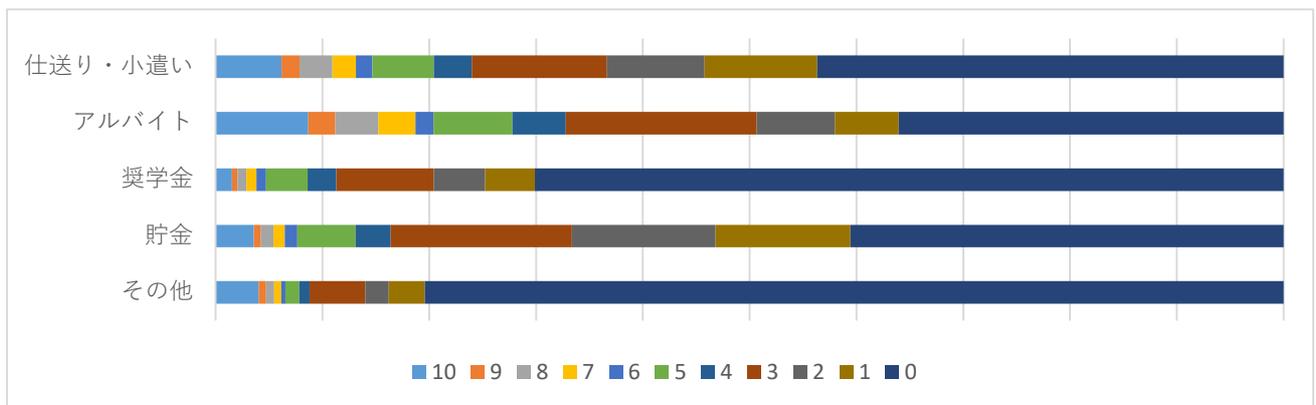
《アンケート》

1.生活について

1-1 現在の住まいについてご回答ください。(ひとつ)

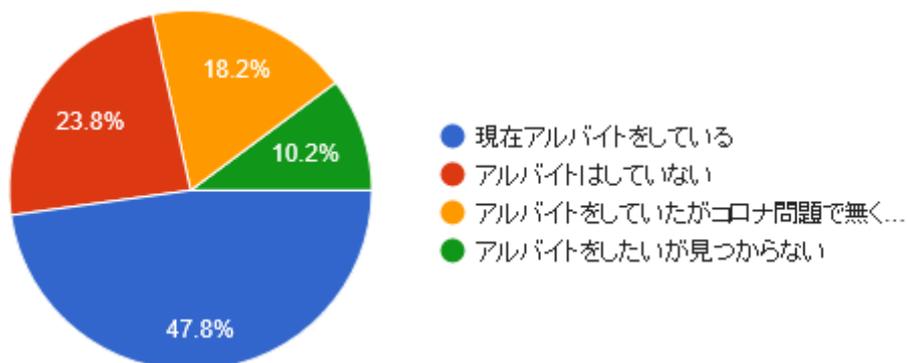


1-2 生活費の割合をご回答ください。以下の項目で全体が 10 点になるようにご回答をお願いします。

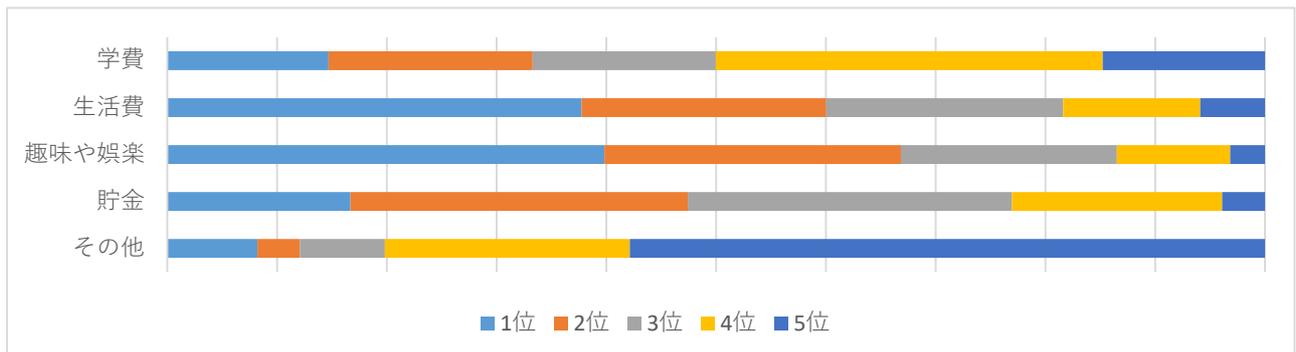


その他の主な回答：失業給付金、職業訓練給付金、教育訓練給付金、仕事の給料 など

1-3 アルバイトの状況についてお尋ねします。(ひとつ)

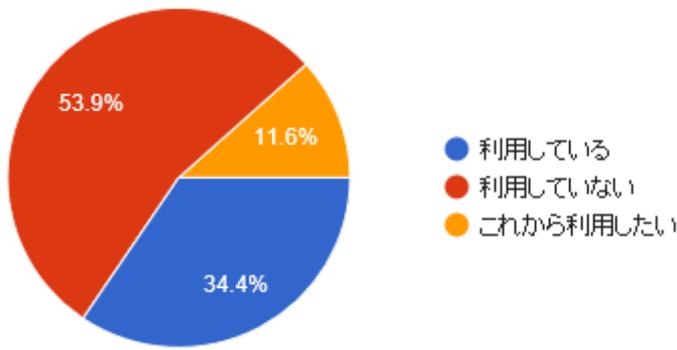


1-4 アルバイト収入の使い道について、割合の多い順に順位をつけてください。

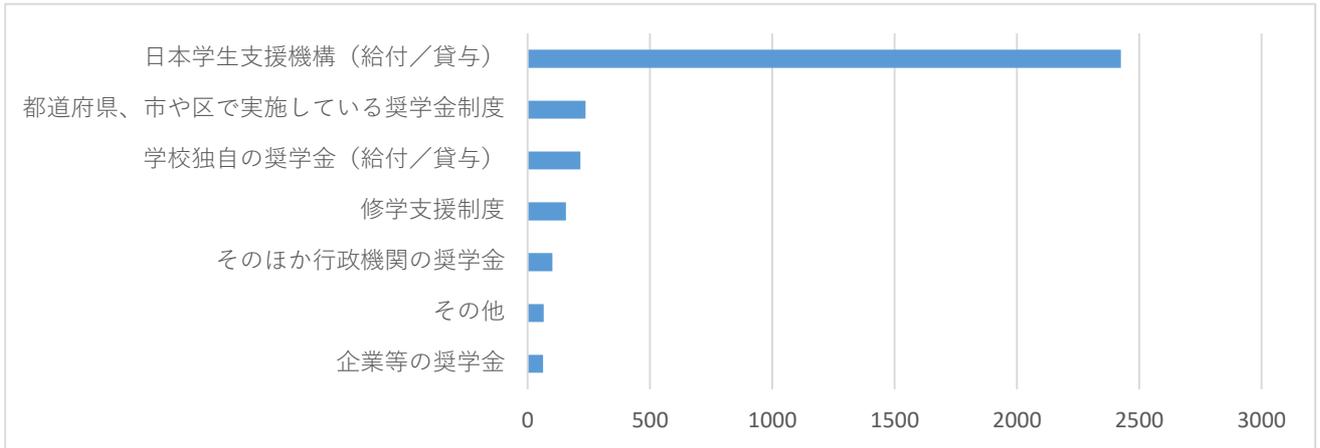


その他の主な回答：奨学金の返済、子供の教育費 など

### 1-5 奨学金について（ひとつ）



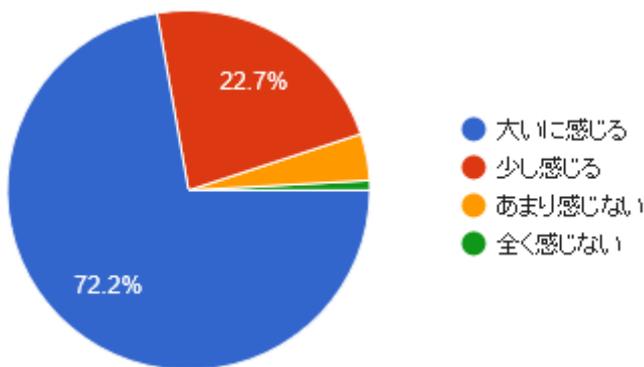
### 1-6 利用している奨学金や支援制度の種類をお教えてください（いくつでも）



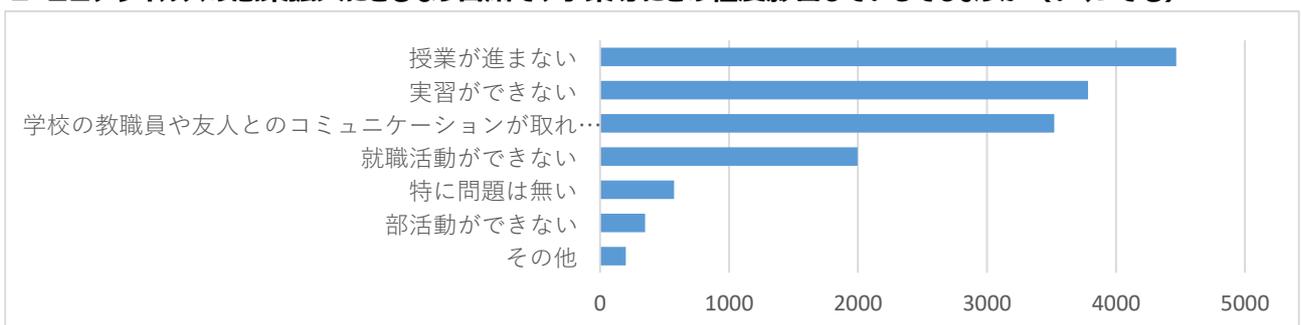
その他の主な回答：教育訓練給付金、教育ローン、専門人材訓練育成 など

## 2.新型コロナウイルス感染症による影響

### 2-1 現在の生活でコロナウイルスの影響をどの程度感じますか（ひとつ）

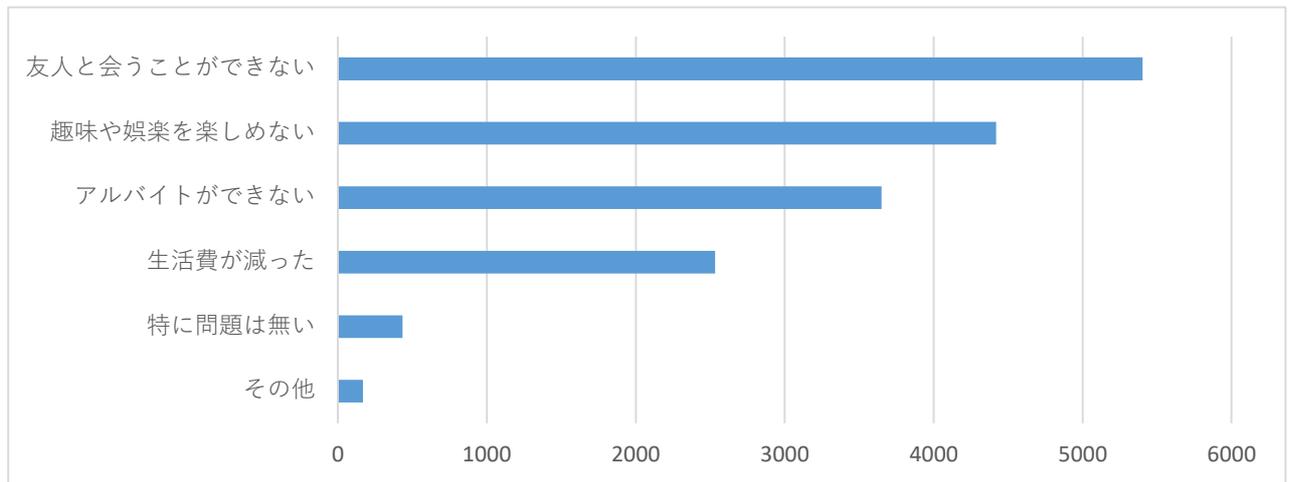


### 2-2 コロナウイルスの感染拡大ともなう自粛で、学業等にどの程度影響しているでしょうか（いくつでも）



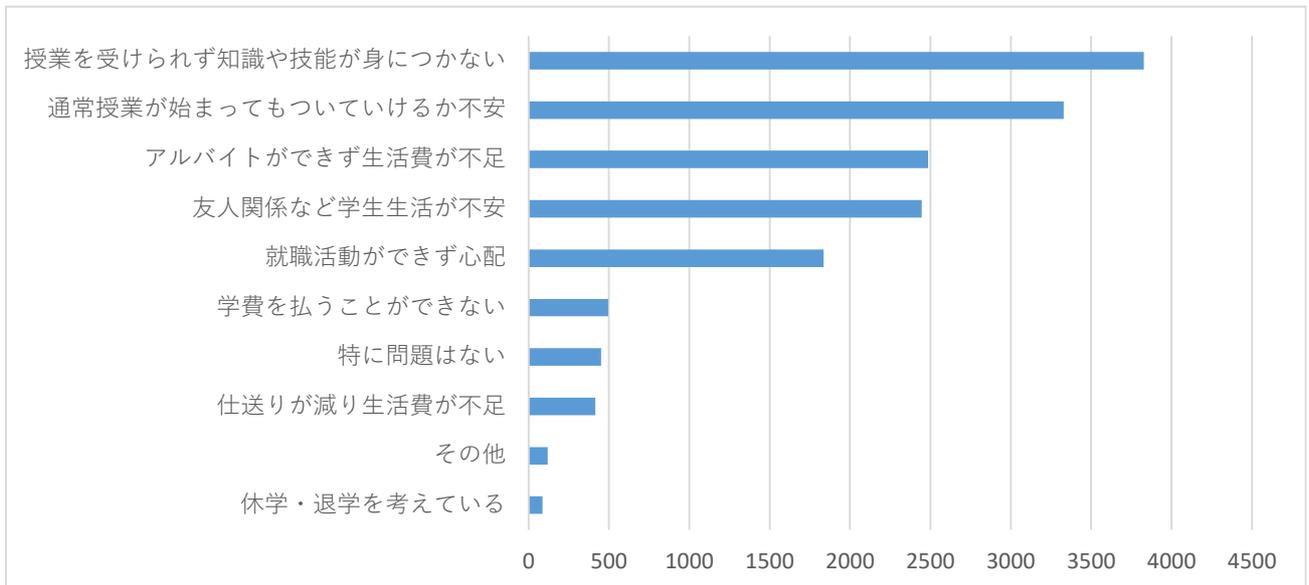
その他の主な回答：授業を一人で理解するのが大変、検定・試験を受けられない、実習で作ったものを食べられない等

### 2-3 コロナウイルスの感染拡大にともなう自粛で、生活にどのような影響があったでしょうか（いくつでも）



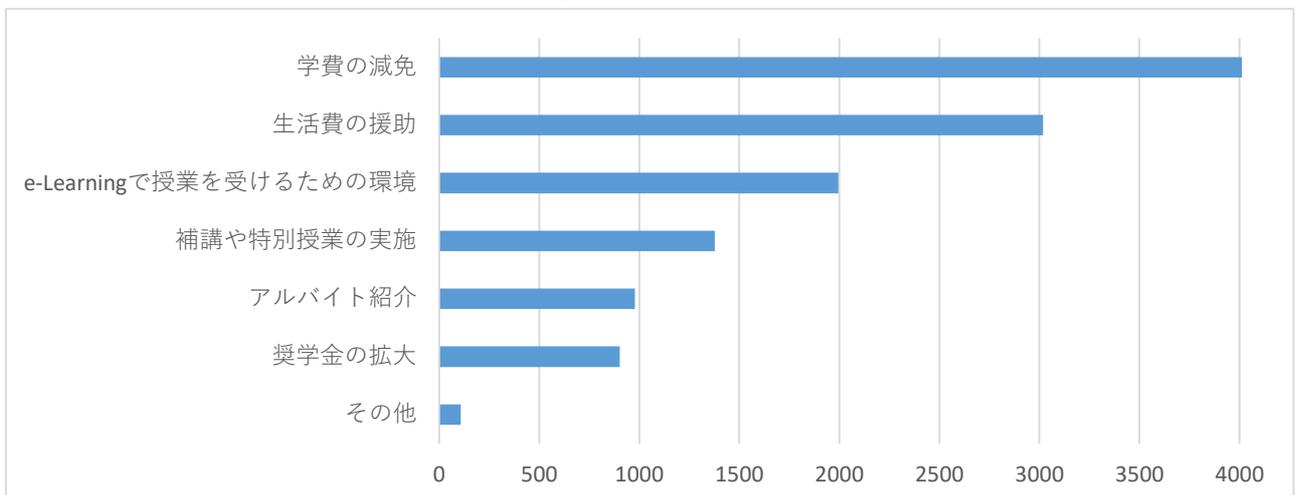
その他の主な回答：実家に帰れない、先の見通しが立たない、アルバイトがきつくなった、支出が増えた、体調不良 等

### 2-4 困難や不安に感じていることをご回答ください（3つまで）



その他の主な回答：電車が怖い、体力が低下した、予定が組めない、感染が不安 など

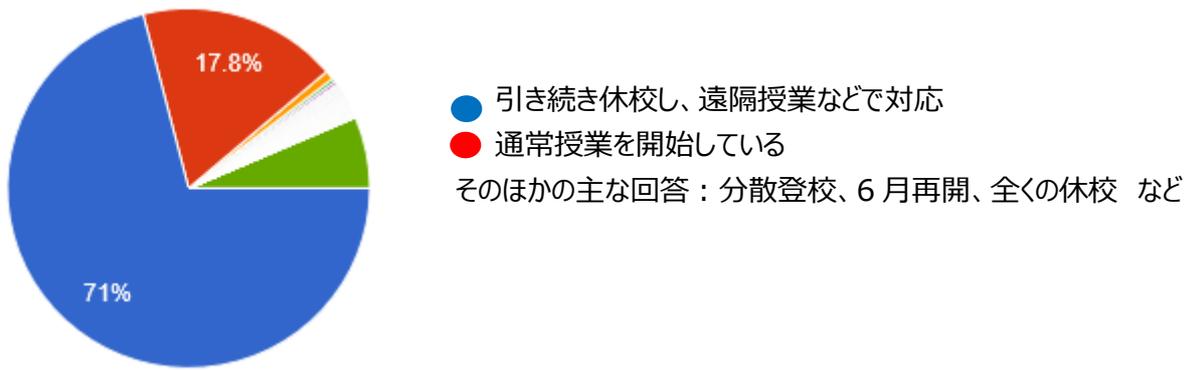
### 2-5 現在必要に感じている支援をご回答ください（3つまで）



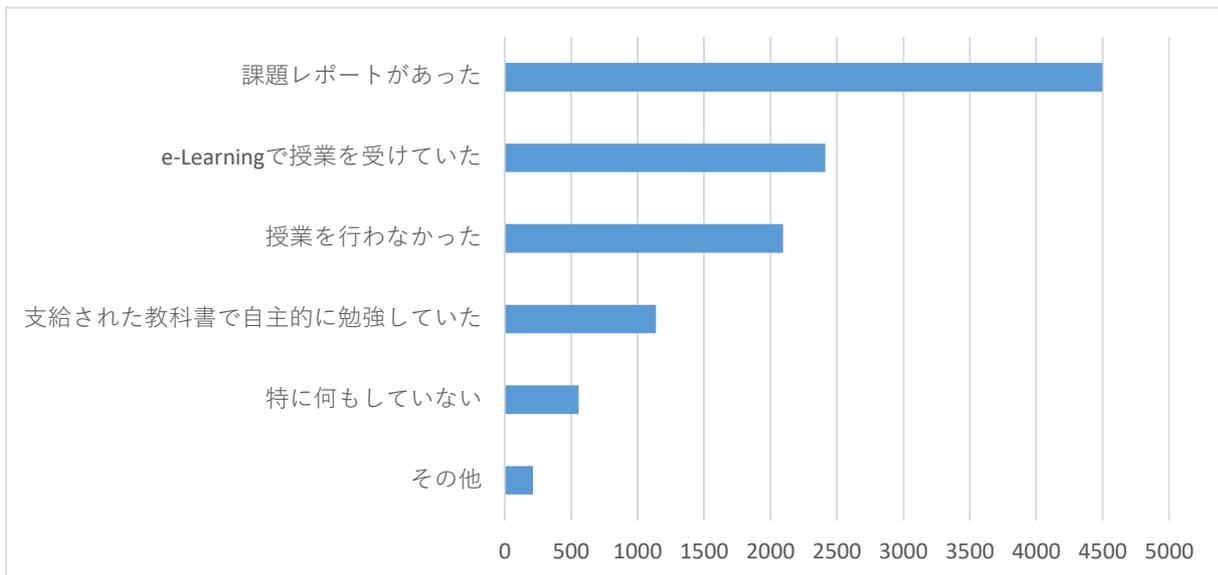
その他の主な回答：就活サポート、通勤ラッシュの解消、カウンセリング など

### 3.授業状況について

#### 3-1 現在の状況について 5月25日時点でのご予定をお聞かせください（ひとつ）

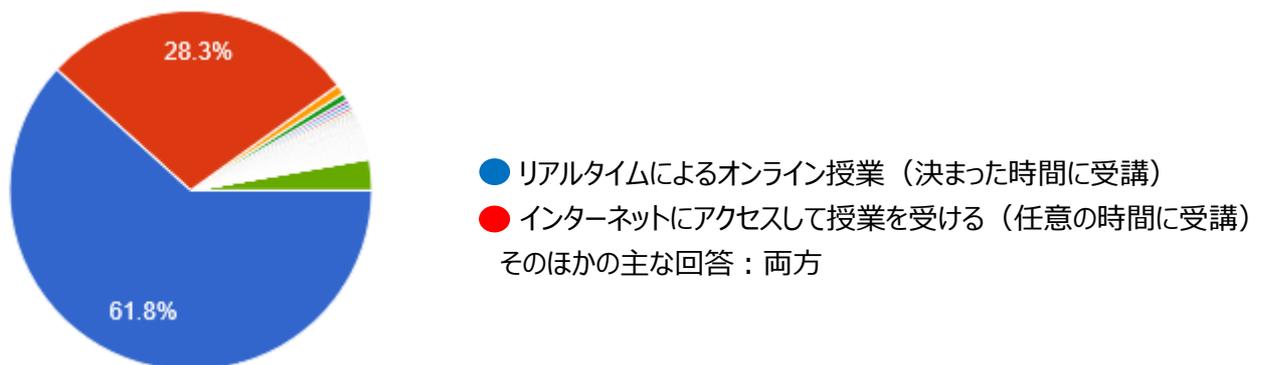


#### 3-2 休校期間中の状況についてご回答ください（いくつでも）

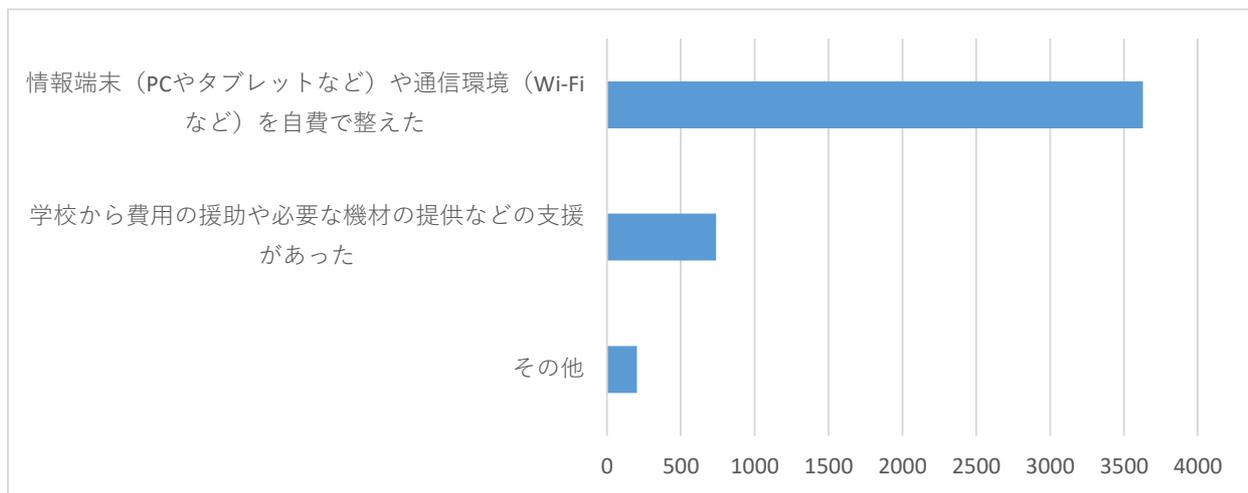


その他の主な回答：自主的に教材を集め自習、自主制作、就活、資格勉強、アルバイト、仕事 など

#### 3-3 e-Learningで授業を受けている場合、以下の項目についてもご回答ください（ひとつ）

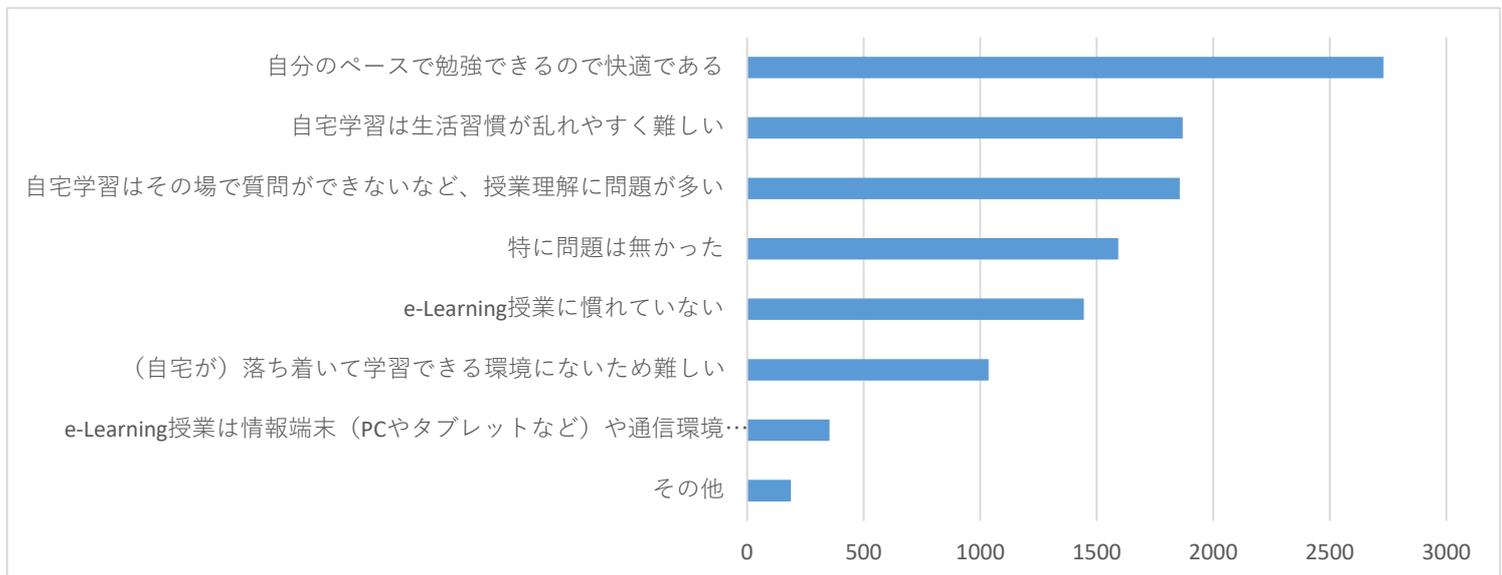


### 3-4 e-Learning で授業を受けている場合、以下の項目についてもご回答ください（いくつでも）



その他の主な回答：元々端末・通信環境が整っている、自分のスマートフォンで対応、実家に戻り対応 など

### 3-5 自宅学習について（いくつでも）



その他の主な回答：通信環境の不具合で受けられないことがあった、スマホだと画面が小さくて疲れる、実技などの直接指導がないため理解しづらい、他の人の理解度が分からなくて不安、通学が不安なのでありがたい、課題が多すぎて期限内に終われない など

#### 4.政府や学校などへの要望事項、困っていることなどを自由にご記入ください

##### 〈不安など〉

- 学習の遅れに不安がある。
- アルバイト収入が減り生活費も学費も払えるか不安。
- アルバイトが出来なかったため授業で使う教材などを買う余裕がなく、経済的にも授業を受ける上でも厳しい。
- 2年間しかないのにさらに学校に行ける期間が減り、学ぶ内容が削減されないか心配。
- リモート授業などを未だ行っておらず心配就活のサポートをして欲しい。
- 進路相談ができず、資格取得もなかなかできない。
- 実習が受けられず、このまま就職し社会に出て仕事をするのが不安。
- 就活が進まなく、選考途中の企業も採用活動を休止しているため、将来がとても心配。
- 作品を作る際に質問できず、授業もないので技術がストップしてしまって就活にダメージを受けている。
- 家族で PC の数が足りなかった。
- オンライン授業で画面を見過ぎて気分が悪くなった。
- 誰もがネット環境がきちんと整っている前提で話をしないで欲しい。
- 今後授業日数やコマ数が増えるのであれば今のアルバイトは続けられない。
- 都内に引っ越しできず家賃だけ引き落としされている。いつ引っ越していいのかわからない。
- 電波の状況が悪くオンライン授業に集中できない。点検をお願いしたが、要望が殺到しているらしくいつまで経っても見てもらえない。
- テレビでは小中学校、大学等のリモート授業などが報道されていますが、専門学校についての情報が全然入ってこない。
- 社会人学生に対する救済措置がなく、状況があまりに厳しすぎる。
- 耳の聞こえない人に対して情報を保障して欲しい。

##### 〈国への要望〉

- 現金支給を急いでほしい。
- 生活費の援助か学費の減免をいち早くして欲しい。
- 奨学金を借りているがアルバイトが減少し学費の工面が難しい。医療関係や実習の多い学校に通う学生は授業料以外にも大きなお金がかかることが多く、給付金の幅を増やして欲しい。
- 親の収入が激減したため給付金 10 万円が 1 円ももらえず、アルバイトもほとんどできていないため自分の生活費がない。学生個人への給付金があるとありがたい。
- いくら親が高所得者でも子供は違う。
- ネット環境（Wi-Fi など）を整えて欲しい。遠隔授業でネット環境を整えるために自費を使っている学生・家庭もあります。遠隔授業中の学費の減免、一人暮らしをしている学生への一律の資金支援を求めます。
- 給付型奨学金制度をもっと充実させて欲しい。
- 給付型奨学金制度の対象条件が住民非課税の方だけなのはおかしい。
- マスクにお金をかけるよりも給付金の額を増やして欲しかったと切実に思う。
- 学生支援給付金の申請が複雑でわかりにくく、お金に困っていても申請しづらい。
- 国だけでなく都や区からの支援も拡充して欲しい。
- 滞在しているだけでお金がかかる留学生への補助金を出来るだけ早く充実させて欲しい。
- 学生支援緊急給付金の対象者条件にアルバイト収入が減少した人となっていますが、アルバイト収入が減少していない人でも遠隔授業のために端末を自費で揃えた人もいてお金が減っているのもそういう人達にも給付金を与えてあげるべきだと思う。
- 奨学金制度をコロナの為に新たに作って欲しい。専門学校も大学と同じ扱いにして欲しい。

- 学生に差別なく支援金の給付を求めます。条件を付けて一部の学生のみを支援するのはこちら側からしたら全く“支援している”とは言い難い状態です。アルバイトをしたいが見つからず支援金が給付される条件にないため給付金を受け取れない。
- アルバイトがなく奨学金を支払うことが出来ないのに、第二種奨学金だから給付金の対象ではないと言われてしまった。
- 学業の得意不得意がある中で苦手でも必死に勉強している学生に対し、一部の学生でなおかつ成績優秀者のみ国からの給付金が受けられるというのはあまりにも範囲が狭すぎる。全国の大学、大学院、専門学校生に一律で給付金支給も一つの手だと思う。
- 国家試験が心配。基準を下げるか日程を遅らせて欲しい。
- 緊急事態宣言を解除するのはまだ早いと思う。
- 全国一斉に一年間の休校を望む。中途半端な学習は不公平だ。
- 9月入学にして平等にして欲しい。
- 通学で満員電車に乗るのが不安。電車内の混雑の緩和をして欲しい。
- 他国への配慮は不要。今日本で生活している人々を第一に考えて欲しい。
- 育児と仕事で e-Learning の時間が確保できない。自粛で収入も減って生活も厳しい。子供を預けられないと遠隔授業、リモートワークは実際はとても難しいことを理解した上で休業補償などを考えて欲しい。
- 職業訓練の委託生として通っている人にも学生給付金が欲しいです。

#### 〈学校への要望〉

- 授業料の納付期間を延ばして欲しい。
- アルバイトが見つからず生活苦で一年休学か退学し、再び学費を貯めてから入学しようかと悩んでいる。学費の援助か免除を望む。
- 自粛で授業がない、実習がない、学校の設備を使用していないなど通常授業と異なる点が多い状況なので、学費を返済もしくは減免して欲しい。
- オンライン授業を受けているが実技もできず通信費は自己負担なのに学費が変わらないのは納得できない。
- 課題が多く 1 日では終わらない。今年のカリキュラムを無理してまで今年中に終わらせようとしなくて欲しい。焦って授業を進めたり、課題ばかりの授業にならないで欲しい。
- ウイルスに感染する、感染させる不安があるので、臨床実習は学内で取り組んで欲しい。
- 教師ごとでオンライン授業のレベルに差があった。
- その場に行かなくては成り立たない授業を除いては、必要に応じてオンライン授業を主流にして欲しい。
- オンライン授業においてスマホやタブレットなどの小さい画面はとても疲れた。機器の貸し出しなどをしていただきたい。
- こういう状況でとても大変であることは十分理解しているが、課題の連絡や郵送が遅かったり、オンライン授業を見る頃にはアップされた動画が消えていることもあり困った。
- 実際に目の前で授業を受けないとオンライン授業は理解しにくく困っている。
- コロナ渦のせいで本来予定していなかった時間帯の追加授業に対して、出られなかったからといって欠席にしないで欲しい。まだ受けていない授業の課題を出席代わりにするのは厳しい。
- e-Learning にしたら受講時間は任意、回数も制限なしで授業を受けられる形にして欲しい。
- オンライン授業が通常授業と同等とは言い難い。強制ではなくとも長期休みにオンライン授業での振り返りや再度授業を行うなどの対策を取って欲しい。
- 学校は現在どのような対応をしているのか、理由も含めて連絡をこまめにして欲しい。
- 休業期間中の学費の取り扱いについて明確にしてほしい。全く対応なしの状況で学費はおかしい。
- 実習を学校でも工夫して行えるようにして欲しい。文部科学省や厚生労働省が発表している実習についてのお知らせが欲しい。